

生殖テクノロジーとヘルスケアを考える研究会資料

2010年9月10,11日開催

人工妊娠中絶の現状 : フランス例からの幾つかの考察

Cristine Levy 日仏会館研究員

要旨 中絶にたいする意識がフランスでは歴史的にどう変わっていったのかを辿り、その経験の感情まで抑圧されてきたという事実についても日本の戦前と比較しながら考えてみる。フランスの歴史的背景を概括し、現代の状況を分析した福祉事業検査官による報告書を紹介する。そして、アニー・エルノー氏の小説『事件』についての考察のうち特に罪悪感の問題を扱う。この三つの側面を通して日本とフランスの女性にとっての、この問題に関する共通点や差異点などを発見する手がかりとする。